いずよう魅力化協議会だより

№２　令和８年１０月２６日　島根県立出雲養護学校

１０月１５日（木）に令和８年度 第２回いずよう魅力化協議会を開催しました。今回は重点目標の中間反省について説明を行った後、出雲養護学校の「防災に関する取組」について説明をしました。その後、校内の災害備蓄物品を見学したり、グループに分かれて協議を行ったりしました。

～重点目標　中間反省～



今年度の重点目標の中間反省について、大地本教頭より説明があり、各部署での成果や課題について報告しました。

委員の方からは、働き方改革の取組が推進されている中、学校内で教職員間の情報共有をする時間を捻出するために、AI を活用している事例があるか等、質問がありました。各学部・分教室からは、AI や ICT 機器の活用、データの保管・管理・活用等で、様々な工夫をしながら日々の教育活動にあたっていることを説明しました。

～出雲養護学校の「防災に関する取組」について～







本校の防災に関する取組について、「未然防止」、「防災教育」、「備蓄品の管理」の３つのポイントを意識して進めていることを説明しました。

＜災害備蓄物品の見学・グループ協議での話題＞

★委員の方々からのご意見・ご助言等
〇カセット式ストーブ等、寒さ対策や電源確保の対策はあるようだが、暑さ対策が大切。
〇防災備蓄品を保管する際に、パッと見てわかるような大きな文字の表示をしておくと、いざという時にすぐ見つけることができる。
〇スクールバスや公用車等はガソリンを満タンにしておくと、災害時に役に立つ。
〇防災バッグの準備があると良い。着替えや食料以外に子どものおもちゃや本、安心グッズを入れると良い。
〇出雲市や神西コミュニティセンターだけでなく、学校周辺の企業とも連携できると良い。
〇引き渡し訓練を実施しておくと良い。





第３回のいずよう魅力化協議会は２月１５日（月）を予定しています。今後、HP 等でお知らせします。